



# Red Hat JBoss Web Server 5.7

## Red Hat JBoss Web Server 5.7 Service Pack 2 リリースノート

Red Hat JBoss Web Server 6.0 向け



# Red Hat JBoss Web Server 5.7 Red Hat JBoss Web Server 5.7 Service Pack 2 リリースノート

---

Red Hat JBoss Web Server 6.0 向け

## 法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

このリリースノートには、Red Hat JBoss Web Server 5.7 Service Pack 3 に関連する重要な情報が含まれています。

---

## 目次

RED HAT JBOSS WEB SERVER ドキュメントへのフィードバック .....	3
多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....	4
第1章 RED HAT JBOSS WEB SERVER 5.7 SERVICE PACK 2 .....	5
第2章 新機能および機能拡張 .....	6
第3章 RED HAT JBOSS WEB SERVER 6.0 のインストール .....	7
第4章 このサービスパックを使用した RED HAT JBOSS WEB SERVER のアップグレード .....	8
第5章 OS/JVM の認定 .....	9
第6章 解決した問題 .....	10
第7章 既知の問題 .....	11
第8章 サポートされるコンポーネント .....	12
第9章 このリリースに関連するアドバイザリー .....	13



## RED HAT JBOSS WEB SERVER ドキュメントへのフィードバック

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

### 手順

1. [このリンクをクリック](#) してチケットを作成します。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

## 第1章 RED HAT JBOSS WEB SERVER 5.7 SERVICE PACK 2

Red Hat JBoss Web Server version 5.7 Service Pack 3 リリースへようこそ。

Red Hat JBoss Web Server は、Java Web アプリケーションをホストする完全に統合および認定されたコンポーネントセットです。これは、アプリケーションサーバー (Apache Tomcat Servlet コンテナ) および Apache Tomcat Native Library から構成されます。

JBoss Web Server には以下の主要コンポーネントが含まれます。

- **Apache Tomcat** は、Java Servlet Specification に準拠したサーブレットコンテナです。JBoss Web Server には Apache Tomcat 9 が含まれています。
- **Apache Tomcat Native Library** は、Tomcat のスケーラビリティ、パフォーマンス、ネイティブサーバー技術との統合を改善します。
- **Tomcat-vault**: JBoss Web Server によって使用されるパスワードおよび他の機密情報をセキュアに保存するために使用される JBoss Web Server の拡張機能です。
- **mod\_cluster** ライブラリーは、JBoss Web Server と Apache HTTP サーバー **mod\_proxy\_cluster** モジュール間の通信を可能にします。**mod\_cluster** ライブラリーにより、Apache HTTP Server を JBoss Web Server のロードバランサーとして使用できます。**mod\_cluster** の設定の詳細、または **mod\_jk** や **mod\_proxy** などの代替ロードバランサーのインストールと設定の詳細は、[Apache HTTP Server コネクタおよび負荷分散ガイド](#) を参照してください。
- **Apache ポータブルランタイム (APR)**: ネイティブサーバー技術との優れたスケーラビリティ、パフォーマンス、および改善された統合を提供するランタイムです。APR は、Apache HTTP Server 2.x の中核となる大変ポータブルなライブラリーです。これにより、sendfile、epoll、OpenSSL などの高度な IO 機能、乱数生成やシステムステータスなどのオペレーティングシステムレベルの機能、共有メモリー、NT パイプ、Unix ソケットなどのネイティブプロセス処理機能にアクセスできます。
- **OpenSSL**: Secure Sockets Layer (SSL) プロトコルおよび TLS (Transport Layer Security) プロトコルを実装するソフトウェアライブラリーです。基本的な暗号化ライブラリーが含まれています。

JBoss Web Server のこのリリースには、中程度のセキュリティー更新がいくつか含まれています。

JBoss Web Server 5.5 以降のバージョンは、Red Hat Enterprise Linux 7 に基づく OpenShift イメージを提供しなくなりました。JBoss Web Server のこのリリースは、Red Hat Enterprise Linux 8 に基づく OpenShift イメージを提供します。

## 第2章 新機能および機能拡張

Red Hat JBoss Web Server 5.7 Service Pack 3 には新機能や機能拡張は含まれません。

## 第3章 RED HAT JBOSS WEB SERVER 6.0 のインストール

Red Hat Enterprise Linux または Microsoft Windows に JBoss Web Server 5.7 をインストールできます。詳細は、インストールガイドの次のセクションを参照してください。

- [アーカイブファイルからの Red Hat Enterprise Linux への JBoss Web Server のインストール](#)
- [RPM パッケージからの Red Hat Enterprise Linux への JBoss Web Server のインストール](#)
- [Microsoft Windows への JBoss Web Server のインストール](#)

## 第4章 このサービスパックを使用した RED HAT JBOSS WEB SERVER のアップグレード

この Service Pack をインストールするには以下を行います。

1. [Red Hat JBoss Web Server 5.7 の Software Downloads](#) ページに移動します。



### 注記

Software Downloads ページにアクセスするには、Red Hat サブスクリプションが必要です。

2. プラットフォームに適した Red Hat JBoss Web Server 5.7 Service Pack 3 アーカイブファイルをダウンロードします。
3. アーカイブファイルを Red Hat JBoss Web Server インストールディレクトリーにデプロイメントします。

Red Hat Enterprise Linux で RPM パッケージから Red Hat JBoss Web Server をインストールした場合は、以下の **yum** コマンドを使用して最新のサービスパックにアップグレードできます。

```
# yum upgrade
```

## 第5章 OS/JVM の認定

このリリースでは、以下のオペレーティングシステムおよび Java Development Kit (JDK) バージョンとの使用がサポートされます。

オペレーティングシステム	チップセットアーキテクチャー	Java 仮想マシン
Red Hat Enterprise Linux 9	x86_64	Red Hat OpenJDK 11、Red Hat OpenJDK 17、Oracle JDK 11、Oracle JDK 17
Red Hat Enterprise Linux 8	x86_64	Red Hat OpenJDK 1.8.x、Red Hat OpenJDK 11、Red Hat OpenJDK 17、Oracle JDK 11、Oracle JDK 17
Red Hat Enterprise Linux 7	x86_64	Red Hat OpenJDK 1.8.x、Red Hat OpenJDK 11、Oracle JDK 1.8.x、Oracle JDK 11、IBM JDK 1.8.x
Microsoft Windows 2019 Server	x86_64	Red Hat OpenJDK 1.8.x、Red Hat OpenJDK 11、Red Hat OpenJDK 17、Oracle JDK 1.8.x、Oracle JDK 11、Oracle JDK 17
Microsoft Windows 2016 Server	x86_64	Red Hat OpenJDK 1.8.x、Red Hat OpenJDK 11、Red Hat OpenJDK 17、Oracle JDK 1.8.x、Oracle JDK 11、Oracle JDK 17



### 注記

Red Hat Enterprise Linux 6 および Microsoft Windows 2012 Server R2 はサポートされていません。

## 第6章 解決した問題

このリリースでは、次の問題が解決されています。

問題	説明
<a href="#">JWS-2887</a>	AJP コネクターからの応答に理由フレーズを追加します。
<a href="#">JWS-1842</a>	ドキュメントでは、RPM インストール用の tomcat-vault.sh の場所が明確になっていません。

## 第7章 既知の問題

このリリースには既知の問題がありません。

## 第8章 サポートされるコンポーネント

Red Hat JBoss Web Server のこのリリースでサポートされるコンポーネントバージョンのリストは、[JBoss Web Server Component Details](#) ページを参照してください。

## 第9章 このリリースに関連するアドバイザリー

本リリースに含まれる拡張機能、バグ修正、および CVE 修正を文書化するために、以下のアドバイザリーが公開されています。

- [RHSA-2023:1663](#)
- [RHSA-2023:1664](#)
- [RHBA-2023:1665](#)